

島根県雲南市木次町ふるさと尺の内公園の昆虫相 (2) レッドデータブック掲載種と希少種の記録*

林 成 多

ホシザキグリーン財団, 〒691-0076 島根県出雲市園町沖の島 1659-5

Insect Fauna of Shakunouchi Park in Un'nai City, Shimane Prefecture, Part 2: Endangered and Rare Species

Masakazu HAYASHI

Hoshizaki Green Foundation, Okinoshima 1659-5, Sono, Izumo,
Shimane Pref., 691-0076 Japan

Abstract In 2006, Ten endangered and rare species of insects were collected by malaise trap and flight interception trap (FIT) in Shakunouchi Park, Un'nai City, Shimane Prefecture, Japan: *Alcimocoris japonensis* (Scott), *Nomuraidea hibarensis* Matsumura, *Zoraida kuwayamae* (Matsumura), *Caelius denticollis* Lewis, *Nippon-obuprestis amabilis* (Snellen van Vollenhoven), *Higonius cilo* Lewis, *Dinorhopala takahashii* (Kono), *Haruka elegans* Okada, *Milesia undulata* Vollenhoven and *Microdon caeruleus simplex* Shiraki.

Key words : malaise trap, flight interception trap, Red Data Book, Shakunouchi Park, Shimane Prefecture

キーワード : マレーゼトラップ, FIT, レッドデータブック, ふるさと尺の内公園, 島根県

はじめに

2006 年 4 月から 10 月までふるさと尺の内公園に設置したマレーゼトラップおよびフライト・インターセプション・トラップ (flight interception trap: FIT) により, きわめて多数の昆虫が捕獲された。得られた昆虫のうち, カミキリムシ・ハムシ類については藤原・林 (2007) で報告した。また, 水生甲虫類については, 林 (2007) で島根県の水生甲虫相についてまとめたが, その中でマルハナノミ科などの記録について述べた。本報告では, 尺

の内公園の昆虫相に関する第 2 報として, レッドデータブックの掲載種および希少種について記録する。なお, 尺の内公園では, 改訂版のしまねレッドデータブック (島根県, 2004) で準絶滅危惧 NT に指定されている, コマルケシゲンゴロウがすでに確認されている (林, 2006a)。

調査方法

トラップは, 公園部分とその後背林の境界に設置したマレーゼトラップ (MT) と FIT を利用した。マレーゼトラップは, HOGA 製マレーゼトラップ (高さ 1.7m, 長さ 1.6m, 幅 1.1m; 黒色ネット

* ホシザキグリーン財団研究業績 第 57 号

製)を2基使用し、それぞれ林縁に設置した。保存用に75%のエタノールを使用した。FITはA3クリアフォルダーを加工して作成する「丸山式FIT」(丸山, 2006)を3基使用し、それぞれ林縁に設置した。保存液には10%酢酸水溶液に洗剤を加えたものを用い、回収後は75%エタノールで一時的に保存した。

調査期間は2006年4月6日から同年10月26日までである。トラップ回収は不定期であるが、1週間から2週間間隔を基本とした。得られた標本はすべて乾燥標本とし、ほとんどの標本はホシザキ野生生物研究所に保管されている。

確認された種

カメムシ目 HEMIPTERA

カメムシ科 Pentatomidae

ウシカメムシ *Alcimocoris japonensis* (Scott)

(図 1A)

前胸背板側角のツノ状突起が特徴のカメムシである。本種は改訂版のしまねレッドデータブックで情報不足DDに指定されている(島根県, 2004)。本種については、今後、島根県内で増える可能性も指摘されており(島根県, 2004)、その動向が注目される。

尺の内公園では、林(2006b)によりすでに記録がある。2006年の調査では、成虫3頭と幼虫1頭が得られたのみであり、個体数は少ないと考えられる。成虫は5月から6月に出現するようである。

1ex., 27.IV.-2.V.2006, MT.

1ex., 27.IV.-2.V.2006, FIT.

1ex., 5-17.VI.2006, MT.

1L., 5-17.VIII.2006, MT.

ハネナガウンカ科 Derbidae

アヤヘリハネナガウンカ *Nomuraida hibarensis* Matsumura (図 1B)

体は全体に赤褐色。前翅には赤褐色の斑紋がある。前翅後縁は波打っている(市田, 1996)ことによりアヤヘリハネナガウンカと同定された。本種は改訂版のしまねレッドデータブックで準絶滅危惧NTに指定されている(島根県, 2004)。これまで島根県内では数カ所での記録しかない希少種

である(島根県, 2004; 尾原, 2006)。

尺の内公園では、2頭がマレーゼトラップで捕獲されただけであった。本種の活動時期は7月とみられる。

1ex., 8.-22.VII.2006, MT.

1ex., 22.VII.-5.VIII.2006, MT.

クワヤマハネナガウンカ *Zoraida kuwayamae* (Matsumura) (図 1C)

体は全体に暗色。前翅には黒褐色の斑紋がある。本種は前翅斑紋の後縁が著しく波打っており、前翅基部付近はほぼ斑紋に覆われること(市田, 1996)から本種と同定された。島根県内でのハネナガウンカ科は、アヤヘリハネナガウンカ、マエグロハネナガウンカ、マダラハネナガウンカ、シリアカハネナガウンカの4種が記録されており(尾原, 2006)、クワヤマハネナガウンカは島根県初記録と思われる。

尺の内公園では、1頭がマレーゼトラップで捕獲されただけであった。本種の活動時期は7月とみられる。

1ex., 8-22.VII.2006, MT.

コウチュウ目 COLEOPTERA

コガネムシ科 Scarabaeidae

トゲニセマゲソコガネ *Caelius denticollis* Lewis

(図 1D)

体は筒状で細長く、全体に黄褐色。前胸背板後側縁に鋸歯があり、非常に特徴的なマゲソコガネである。本種は森林に生息し、春期にのみ活動する希少種である(川井ほか, 2005)。島根県でのコガネムシ類の目録(鈴木, 2006)によれば、本種の記録はなく、島根県初記録と思われる。

尺の内公園では、1頭がFITで捕獲されただけであった。本種の活動時期は4月とみられる。

1ex., 13-20.IV.2006, FIT.

タマムシ科 Buprestidae

アオマダラタマムシ *Nipponobuprestis amabilis* (Snellen van Vollenhoven)

(図 1E)

本種は改訂版のしまねレッドデータブックで情

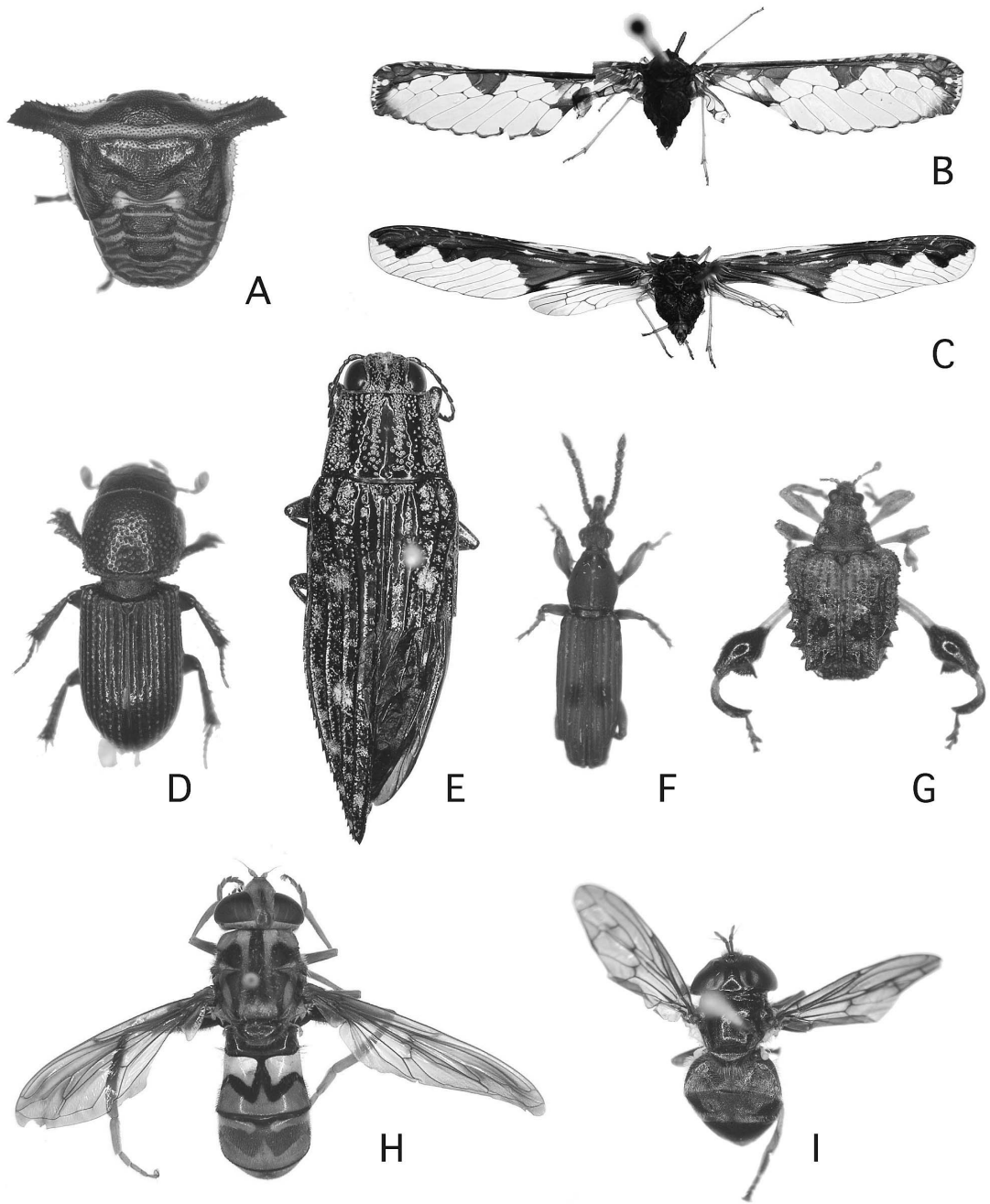


図1 尺の内公園で確認された希少昆虫。A, ウシカメムシ（幼虫）；B, アヤヘリハネナガウンカ；C, クワヤマハネナガウンカ；D, トゲニセマグソコガネ；E, アオマダラタマムシ；F, ヒメマルミツギリゾウムシ；G, タカハシトゲゾウムシ；H, シロスジナガハナアブ；I, ヒメルリイロアリスアブ。

報不足 DD に指定されている（島根県，2004）。

尺の内公園では，1 頭のみが得られた。県内での近年の記録としては，福井（2004）や林（2006c）などがある。

1ex., 5-17.VI.2006, MT.

ミツギリゾウムシ科 Brentidae

ヒメマルミツギリゾウムシ *Higonius cilo* Lewis

（図 1F）

本種は改訂版のしまねレッドデータブックで情報不足 DD に指定されている（島根県，2004）。本州から南アジアまで広く分布するが，希な種であるとされている（森本，1984）。

尺の内公園では，5 月から 8 月上旬まで，1，2 頭の成虫が断続的にトラップに捕獲された。発生数は非常に少ないと思われる。

1ex., 2-8.V.2006, MT.

1ex., 8-13.V.2006, FIT.

1ex., 8-13.V.2006, MT.

2exs., 13-19.V.2006, MT.

1ex., 5-17.VI.2006, MT.

1ex., 29.VI.-8.VIII.2006, MT.

ゾウムシ科 Curculionidae

タカハシトゲゾウムシ *Dinorhopala takahashii*

（Kono）（図 1G）

本種は改訂版のしまねレッドデータブックで情報不足 DD に指定されている（島根県，2004）。島根県内では，これまで県西部と中部で記録があり，東部の記録はみあたらない。

尺の内公園では，4 月に 1 頭がマレーゼトラップで捕獲されたのみである。

1ex., 20-27.IV.2006, MT.

ハエ目 DIPTERA

ハルカ科 Cramptonomyiidae

ハマダラハルカ *Haruka elegans* Okada

（図 2）

本種は環境省のレッドデータブックと改訂版しまねレッドデータブックで情報不足 DD に指定されている（環境省，2006；島根県，2004）。島根県内では，林（2005，2006d）の記録がある。

尺の内公園では，トラップを最初に設置した 4 月 6 日にはすでに出現しており，交尾個体も観察された（図 2）。マレーゼトラップでは，4 月上旬に 100 個体以上が捕獲され，その後急激に数を減らして 4 月末までに成虫は姿を消した。トラップ設置以前の発生状況は不明であるが，おそらく 4 月上旬が発生数のピークであると考えられる。なお，FIT でも捕獲されたが，保存状態が悪く，標本にすることができなかった。本種は，成虫の発生時期が短いものの，島根県東部の丘陵地では普通種である。

108exs., 6-13.IV.2006, MT.

39exs., 13-20.IV.2006, MT.

3exs., 20-27.IV.2006, MT.

ハナアブ科 Syrphidae

シロスジナガハナアブ *Milesia undulata* Vollenhoven （図 1H）

本種は大型のハナアブで，日本各地に分布するが，希な種である（双翅目談話会，2002）。島根県では初めて記録されたものと思われる。

尺の内公園では，6 月に 1 頭がマレーゼトラップで捕獲されたのみである。

1ex., 17-29.VI.2006, MT.



図 2 ビニールハウスの支柱で交尾をするハマダラハルカ（2006.4.6）

ヒメルリイロアリスアブ *Microdon caeruleus simplex* Shiraki (図 11)

本種は好蟻性のハナアブで、日本各地に分布するが、少ない種である(双翅目談話会, 2002)。島根県では初めて記録されたものと思われる。

尺の内公園では、6月から7月にマレーゼトラップとFITでそれぞれ1頭が捕獲されたのみである。
lex., 29.VI.-8.VII.2006, FIT.
lex., 8-22.VII.2006, MT.

ま と め

尺の内公園で実施したトラップ調査により、環境省レッドデータブック掲載種が1種、改訂しまねレッドデータブック掲載種が6種、島根県初記録とみられる4種の昆虫が確認された。すでに記録されている種を含め、尺の内公園で確認された改訂しまねレッドデータブックの掲載種は、準絶滅危惧NTが2種、情報不足DDが5種の計7種である。

文 献

- 藤原淳一・林 成多(2007) 島根県雲南市木次町ふるさと尺の内公園の昆虫相(1) ホソカミキリムシ科・カミキリムシ科・ハムシ科(甲虫目ハムシ上科)。ホシザキグリーン財団研究報告, (10)。印刷中。
- 福井修二(2004) アオマダラタマムシの越冬個体をモチノキから採集。すかしば, (52): 7。
- 林 成多(2005) 電柱に集まるハマダラハルカ *Haruka elegans* Okada. はなあぶ, (20): 78。
- 林 成多(2006a) 雲南市木次町ふるさと尺の内公園の水生昆虫類。ホシザキグリーン財団研究報告, (9): 113-119。
- 林 成多(2006b) 雲南市尺の内公園のウシカメムシ。すかしば, (54): 61。
- 林 成多(2006c) 島根県産ヤマトタマムシとアオマダラタマムシの記録。すかしば, (54): 21。
- 林 成多(2006d) 島根県東部でのハマダラハルカの記録。すかしば, (54): 35。
- 林 成多(2007) 島根県産水生甲虫類の分布と生態。ホシザキグリーン財団研究報告, (10)。印刷中。
- 市田忠夫(1996) 青森県のウンカ下目。Celastrina(津軽昆虫同好会会誌), (31): 41-76。
- 環境省(2006) 「改訂・日本の絶滅のおそれのある野生生物 レッドデータブック 5 昆虫類」246p。財団法人自然環境研究センター。
- 川井信矢・堀 繁久・河原正和・稲垣政志 編(2005) 「日本産コガネムシ上科図説 第1巻 食糞群」187p。昆虫文献 六本脚。
- 丸山宗利(2006) 効果的な簡易型屋根付きFITとその作り方。甲虫ニュース, (153): 20-21。
- 森本 桂(1984) ミツギリゾウムシ科。「原色日本甲虫図鑑 (IV)」: 260-265, pl.51-52。保育社。
- 尾原和夫(2006) 島根県の半翅類。「新島根の生物」: 189-202。日本生物教育会島根大会実行委員会。
- 島根県(2004) 「改訂しまねレッドデータブックー島根県の絶滅のおそれのある野生動植物」415p。島根県景観自然課。
- 双翅目談話会(2002) 「データアップ図鑑 日本のハナアブ」228p.+xi+vii。双翅目談話会。
- 鈴木謙治(2006) 島根県の甲虫類。「新島根の生物」: 203-218。日本生物教育会島根大会実行委員会。